



Tokyo Tech

東京工業大学 産学協働プログラム
「人生100年時代の都市・インフラ学」

人生100年時代の豊かな ライフシーン Vol.1

チーム⑥：学びと学びかた

座長：安藤章（株式会社日建設計）

担当教員：十代田朗

2021年2月22日
資料作成：坂村圭

これから3回のワークショップが目指すこと

人生100年時代の豊かな学びや学び方を創出する 都市・インフラのデザイン要件の抽出

- 学びや学び方の「豊かさ」とはどのようなものかを説明できるようになる
- 人生100年時代の「豊かな」学びと学び方を想定できるようになる
- 人生100年時代に学びと学び方の「豊かさ」を創出するために、都市・インフラがどのような要件を満たすべきかを理解する

「豊かさ」をデザインする

例えば、「これから50年を見据えた豊かな学びを生み出すスペースをつくりたい」という依頼を受けたときに、その空間をどのように設計・計画しますか。

どのような人が集まるように設計しなければならないか、どのような活動を生み出したいか。そのためには、どんな機能が必要で、どれぐらいの面積が必要となるか・・・。

もちろんそれぞれのプロジェクトでは、クライアント、敷地要件、予算などが異なるため、このような問いには、画一的な答えはありません。それでも、それぞれのプロジェクトで満たすべき、豊かな学びや学び方を創出するための「デザイン要件」や「検討事項」にはいくつかの共通点が存在しているのではないのでしょうか。

本ワークショップでは、「豊かなライフシーン」を切り口に、都市・インフラが備えるべきデザイン要件を議論、抽出することを目的としています。



豊かさの事例を
集める



パターンや構造
を理解する



通底する概念や
ビジョンを応用
する

本日の中心的な議題

学びや学び方が「豊か」とはどういうことか

- － 学びや学び方における「豊かさ」を自らの経験から掘り起こしてみる
- － グループ内で意見を共有して「豊かさ」を構成する多様さと共通する要素を議論する
- － 学びや学び方の豊かさに影響を与えるコトやモノを把握する

【次回以降の議題】

第2回：人生100年時代に学びや学び方はどのように変化していくべきかを人の豊かさから考える

第3回：人生100年時代の学びや学び方を支える都市・インフラのデザイン要件を考える

本日のタイムスケジュールと進行について

○タイムスケジュールと進行

ワークショップの全体時間は3時間(14:00-17:00)です。進行や時間配分はグループ座長に一任させていただきます。

事務局からはチーム内で行っていただきたい議題（ワーク）を数点提示させていただきます。この議題を中心に自由に議論を行ってください。

○本日議論していただきたいこと

- (work1) 自己紹介
- (work2) 豊かさを自分の経験から掘り起こす
- (work3) 全体ディスカッション

○本日の記録とその共有について

議論いただいた内容はビデオ記録を残すだけでなく、書き起こしを事務局で行います。これらの結果は人生100年のホームページでアーカイブさせていただきます。

【Work 1】

自己紹介

新しいワークショップのはじまりです。まずは自己紹介を行きましょう。
お名前、ご所属、最近の趣味、好きな食べ物など・・・
一人2分程度で自己紹介をお願いいたします！

【Work 2】

豊かさを自分の経験から掘り起こす

個人的な経験から学びや学び方の豊かさを考えてみましょう。

「豊かさ」を感じた自身の学びや学び方の経験を思い返して、ノートに書きだします（20分程度）。

ノートの内容がまとまったら、zoomのチャットに書き込みを行ってください。
全員の書きこみが終わったら、一人2分程度で発表を行います。

【Work 3】

全体ディスカッション

グループ内の発表をもとに、ライフシーンの「豊かさ」の多様性と共通点を考えてみましょう。また、どのような事柄（時間、場所、相手・・・）が「豊かさ」に影響を与えるかを話し合ってみましょう。
その他にも、気になったことは何でもグループ内で共有してください。

議論してみたら面白いかもしれないこと

○学びや学びかたを分類するとしたらどのような分け方があるか

哲学者の若松英輔は、「ことば」に関して、「分かるということは変わるということだ」「ある出来事にふれ、真に分かったとき人は、どこかで変貌しているのである」と述べている。このような学びの結果として生じる変貌や人間としての成長が私たちの豊かな学びを考えるうえで、大きな意味を持つかもしれない。

私たちが学ぶ対象は、技術や知識から、知恵や生きかたなど多様に広がる。しかし、そのすべてを同等に評価して、「学び」や「分かる」ということを論じるのは困難なように感じる。

豊かさを切り口にする場合、学びや学び方をどのように分類すると良いだろうか。

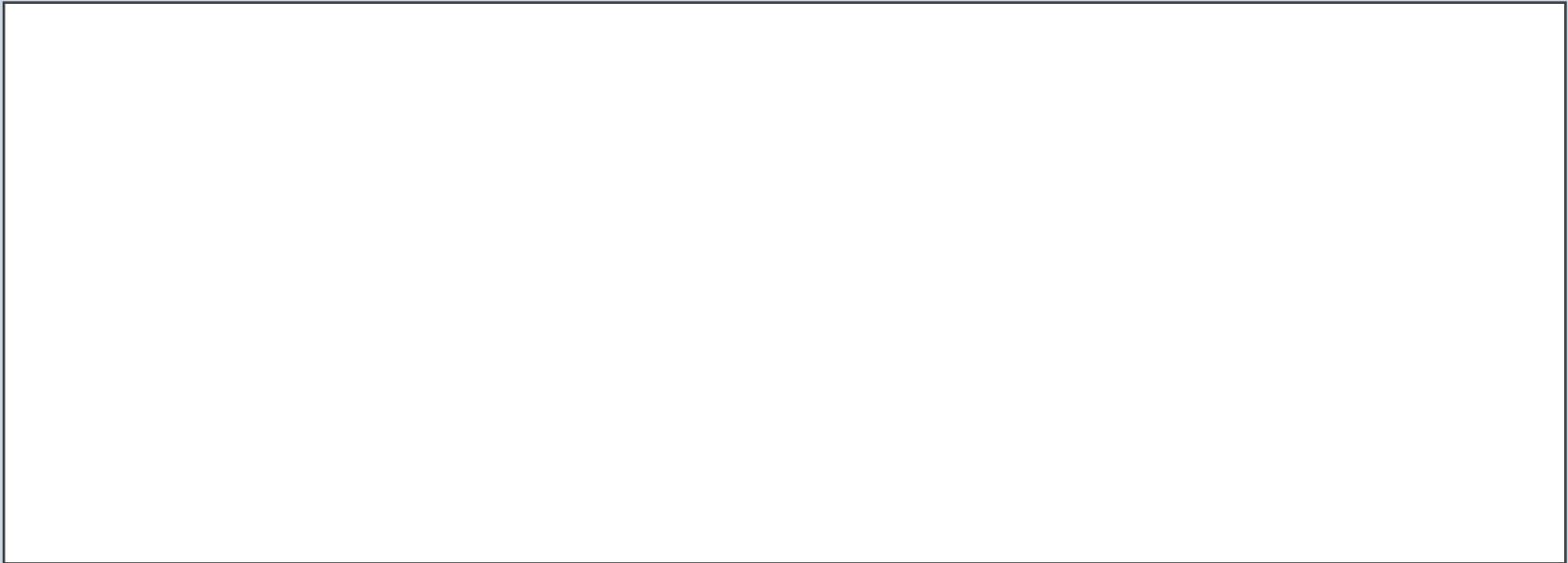
○私たちの学びや学び方は何に影響を受けているのか

同じ事柄を学ぶにしても、静かな場所で香り豊かなコーヒーを横においていたほうが満足感を覚える。また、実際には隣の席にいらなくても、同じ試験を目標に切磋琢磨している知人がいると、学びは促進される。これらのことは、学びや学び方の豊かさと関連することだろうか。

私たちの学びや学び方が影響を受けることと、その豊かさととの関連を考えてみたい。

本日のまとめ

学び・学び方の「豊かさ」とは



である。